

教育相談（カウンセリング）

[講義・演習] 第4学年 後期 必修 1単位

《担当者名》近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

カウンセリングの基本的な理論を理解し、共感的態度と基礎的なカウンセリング技法を習得する科目である。実践的な演習を通して、自身のコミュニケーションスタイルを再考し、対人コミュニケーション能力を身につけることを目指す。

【学修目標】

一般目標

心理学的支援の様々な理論を理解し、カウンセリングの基礎について学ぶ。カウンセリングに必要な言語的、非言語的コミュニケーションについて学び、演習を通じて基本的なスキルを習得する。

行動目標

1. カウンセリングの背景となる諸理論の基礎知識を説明できる。
2. カウンセリングに必要な「観る」「聴く」「語る」について説明できる。
3. カウンセリングに必要な倫理的配慮を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・講義の進め方、概要、評価の説明 ・心理学的支援の全体像の理解	近藤里美
2	カウンセリングの背景となる心理療法の概観	・力動論に基づく心理療法の理解	近藤里美
	カウンセリングの背景となる心理療法の概観	・行動論・認知論に基づく心理療法の理解	近藤里美
3	カウンセリングの背景となる心理療法の概観	・パーソン・センタード・アプローチの理解	近藤里美
4 }	コミュニケーションと傾聴	・表現の多相性の理解	近藤里美
5		・傾聴の基本姿勢の理解 ・ラポール形成の理解 小グループによる演習と振り返り	
6 }	共感と理解	・対象者の理解と見立て	近藤里美
7		・カウンセリングの相互作用 ・カウンセリングのプロセスの理解 小グループによる演習と振り返り	
8	まとめ	・カウンセリングの「枠組み」と「倫理」 ・各自の課題の抽出と整理	近藤里美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

平常点 50%、毎回の振り返りレポート 20%、最終レポート30%

【教科書】

講義時に必要な資料を随時配布する。

【参考書】

諸富祥彦 「カール・ロジャーズ カウンセリングの原点」 角川選書 2021年
河合隼雄 「カウンセリングの実際」 岩波書店 2009年
大山泰弘 「心理カウンセリング序説」 放送大学出版会 2021年

【学修の準備】

- ・この科目は、授業中の演習を通して感じられることを重視する科目であるため、積極的に参加すること。
- ・配布された資料をもとに、十分な事前学修を行うこと（80分）。
- ・毎回の授業後には、振り返りレポートを提出して、各自の課題を整理すること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関および介護保健施設での実務経験を活かし、担当の講義を行う。